

新 着 図 書

- ★『アダム・スミスの夕食を作ったのは誰か？これからの経済と女性の話』カトリーン・マルサル著／高橋璃子訳 2021 河出書房新社
- ★『# 駄言辞典』日経 x w o m a n 編 2021 日経 B P
- ★『在宅ひとり死のススメ』上野千鶴子 2021 文藝春秋
- ★『やりたいこと、全部やりたい。』立花佳代 2021 アスコム
- ★『あなたにもある無意識の偏見』北村英哉 2021 河出書房新社

～ふらっと ねやがわにて貸出可能です～

ふらっと ねやがわ・相談事業のご案内

＜女性の相談員による心の悩み相談＞

女性の自立・生き方・人間関係などの心の悩み相談。
女性カウンセラーがサポートします。

【面接相談】※要予約

◎相談日時 月曜日：9:30～12:40
水曜日：13:30～16:40
第3木曜日：13:30～16:40

◎相談場所 ふらっと ねやがわ

予約・問い合わせ TEL(072)800-5789

【電話相談】※予約不要

相談日時 金曜日：13:00～17:00
(16:30 までに電話して下さい。)
TEL(072)800-5584(相談専用)

＜女性の弁護士による法律相談＞

法律上の問題（DV、離婚、相続など）に悩む
女性の相談に女性弁護士がこたえます。

【面接相談】※要予約

相談日時 毎月第3火曜日：13:30～16:30
予約は、相談日の前日 午前 10:00 より先着4名
TEL(072)800-5790(予約専用)

＜男性の相談員による心の悩み相談＞

男性の生き方・人間関係・セクシャリティ（同性愛を含む）などの相談。男性相談員による電話相談です。

【電話相談】※予約不要

相談日時 毎月第2水曜日：19:00～21:00
(20:30 までに電話して下さい。)
TEL(072)800-5584(相談専用)

※ 秘密は守られます。 ※相談はすべて無料です。

寝屋川市立男女共同参画推進センター

「ふらっと ねやがわ」

〒572-0042 寝屋川市東大和町2番14号
(市立産業振興センター5階)

TEL : 072-800-5789

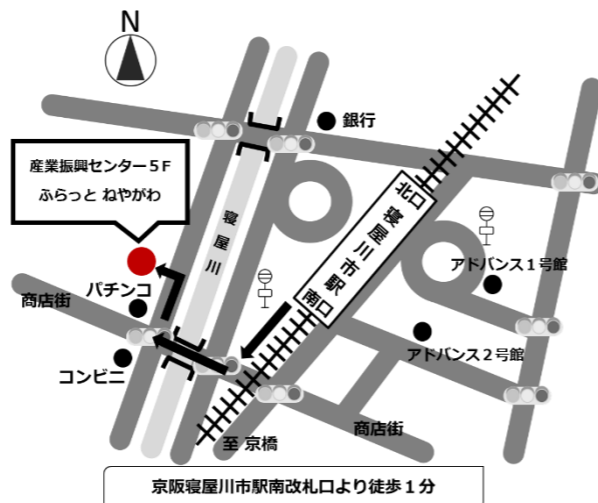
FAX : 072-800-5489

E-mail : flat@office.city.neyagawa.osaka.jp

開所時間：午前9時～午後9時

(日曜日・祝日は午後5時30分まで)

休館日：第2日曜日・年末年始



京阪寝屋川市駅南改札口より徒歩1分

Doふらっと

寝屋川市立男女共同参画推進センターだよりDoふらっと第44号 令和5年〇月〇日発行

ダイエットとジェンダー

～女性に求められる容姿の基準～



日本の職場で女性がハイヒールやパンプスの着用を義務付けられていることに抗議する運動「#KuToo」が行われたのは記憶に新しい。しかし女性が容姿について求められるのは、これだけではありません。メイクや髪形、服装などについて、女性らしくするよう求められる職種もあります。さらに、若い女性向けの雑誌をめくると、モテるための化粧方法や髪形、可愛いファッションやダイエットのための情報など容姿に関する記事があふれています。そして、女子の50%近くが「自分が太っていると」思っていて、3人に1人がダイエットをしていると答えたアンケート結果もあり、若い女性の「やせ願望」や「無理なダイエット」は、近年増えてきています。女性は、なぜここまで容姿に振り回されるのか、ダイエットを中心に考えていきたいと思えます。

ダイエットのはじまり

現代は「痩せていることが美しい」という価値観が浸透していますが、18世紀までのヨーロッパでは、ほっそりとした女性は必ずしも美しいとみなされていませんでした。豊かで十分な食べ物を消費できた特権階級

だけが健康的でふっくらした肉体を持ち、それが美のしるしでした。この時代にヨーロッパで描かれた絵画を見ればよくわかります。19世紀にはいると、産業革命による技術の進歩によって食料の生産性が高まり、飢餓の不安から解放されました。特にアメリカでは食べ過ぎる人が増え始め、カロリーを消費しようとスポーツやエクササイズを提唱し、ダイエットという考え方が一般化されました。

日本では、1967年イギリスのスーパーモデル・ツイッギーの来日により、美脚でミニスカートをはいた彼女に憧れ、ダイエットがブームとなりました。その後、健康器具やカロリー計算、こんにやくやりんご、ゆで卵などの1つの食品を食べ続けるダイエットが流行り、摂食障害を引き起こすなどの社会問題となりました。そのほかには、エアロビクスやヨガ、短期集中型のエクササイズ、糖質OFFなどさまざまなものが流行しました。これらは、新聞・TV・雑誌・ラジオなどのメディアで取り上げられるたびに、注目を集め、一大ブームとなりました。自分も「痩せなくては」という思いに駆られた経験がある人も多くいるのではないのでしょうか。

